

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

コミュニティ スクール

C S 通信

NO. 34

2025年9月1日
発行：布水中学校運営協議会
布水中学校校長 若狭朋幸
地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

8月8日 「校門前の花壇の手入れ」

夏休み前には、誇らしげに咲いていた花は今きれいにカットされています。「ふすい花の会」の方たちと一鉢一鉢、花をカットしたりかれているもの取り除いたりして、たっぷり水を与えていただきました。2学期始まりの頃には満開になると聞いています。



8月24日 「子どものSOSの受け止め方」

C S 通信 No33 号でもお知らせしました、市民活動団体による「子どものSOS受け方講座」が開催されました。

P T Aの全国大会と同時期でしたので、参加者はやや少なかったのですが、子どもたちの想いが伝わってくる講座となりました。普段忙しくしている大人たちに、遠慮している子どもたちがいる。大人が普段と違う子どもに気づいて、そっと声をかけてあげ、ゆっくり話を聴いて、やさしく寄り添う時間をつくるのがとても大切なことだなと感じました。



8月26日 「夏休み中の課題」

～自分の得意分野や興味のある分野のコンクールに応募してみよう！～
というタイトルの夏休み応募作品一覧表が配布されていました。

塚本も保護司をしまして、「社会を明るくする運動」作文コンテストの応募依頼をされていて、毎年たくさんの応募をいただいています。そして、学年登校日には続々と作品が集まって来ています。41の応募作品情報が載っていて、そのうち15作品に関して学校で受付しています。

川柳や短歌・俳句・絵手紙・書道・ポスターなどあり作文や感想文だけではなく、いろいろなコンクールが行われているのだなと思いました。料理やフォトエッセイ。科学研究やものづくり、デザインといったものまであります。どうしても、スポーツに目は行きますが、生徒ひとり一人が作文や英語検定・漢字検定などにも取り組んでいます。

9月1日 「愛と和の5万人あいさつ運動」

今日からいよいよ2学期が始まります。初日の今日は、地域の方や35Hの生徒・保護者があいさつ運動に参加して、とても元気の良い挨拶が交わされていました。



「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

地域学校協働活動推進員 布水中学校担当の塚本 茂樹です。

この「CS通信」はコミュニティースクールとして、活動したことや活動していきたい事を含め私自身が中学校内で、感じたことを保護者や地域の皆様へ発信していきたいと思います。

もちろん、中学校という教育機関の中で起こることですので個人情報などには充分配慮し、学校長の許可を得たもののみを発信しています。

お問い合わせは

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

E-Mail :

fusuityu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp

まで、メールでお願いします。